

円山動物園で 新たにゾウを飼うべきか 皆さんのご意見を募集

円山動物園は、平成19年にゾウの花子が死んで以来、ゾウがいない状態が続いています。そのような中、市民からゾウを求める声が上がリ、今、動物園ではゾウを飼うべきかどうかの検討を進めています。今回の誌面では、ゾウを飼う場合の費用や、飼育方法などの概要を紹介するので、皆さんのご意見をお寄せください。

[詳細] 円山動物園 ☎621-1426



これまでの経緯とこれから

これまで

円山動物園の人気者「ゾウ」が居なくなった

同園には、雌のゾウ「花子」と「リリー」がいました。大きな体と長い鼻を揺らしながら、ゆったりと歩き回るゾウは、子どもたちに大人気。50年以上もの間、動物園の主役であり続けましたが、平成11年にリリーが死に、19年には花子も死んでしまいました。



↓ 市民の声の高まり

花子がなくなった後、動物園には「またゾウを飼ってほしい」との声が寄せられるようになりました。今年4月には、約3万人分の署名も届けられました。

↓ 新たにゾウを飼うべきか検討することに

これから

平成24年
5月～8月

ゾウの導入について本誌や市民アンケートなどで意見を募集し、検討を進める

24年9月～
25年度

ゾウの原産国（東南アジア諸国、インドなど）へ行き、費用や導入する頭数、飼育条件などを調査

26年度

導入可否を最終判断

ゾウを飼うことになった場合

27年度以降

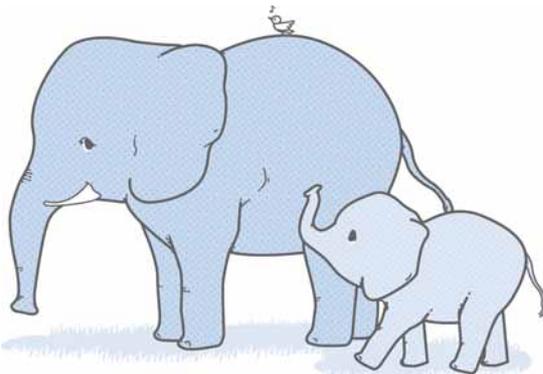
飼育施設の建設を開始し、ゾウを飼育

ゾウってこんな動物

ゾウにはアジアゾウとアフリカゾウ、マルミミゾウの3種類があり、円山動物園ではアジアゾウ導入の検討を進めています。

●データ(アジアゾウ)

世界での生息数／36,000頭～51,000頭
道内飼育状況／1頭のみ(帯広市動物園)
国内飼育状況／63頭(平成23年1月現在)



穏やかな性格

アジアゾウは穏やかで従順。知性が高く、友達思いで、仲間が死ぬと皆で一緒に悲しむといわれています。

長い鼻

臭いを嗅ぐだけでなく、物をたたいたり、つかんだりします。

低周波を聞きとる耳

耳が良く、わずかな音で危険を察知したり、人には聞こえない低周波の鳴き声でコミュニケーションをとったりします。